

春の足音が近づいています

～校庭改修工事も始まりました～

立春を過ぎました。暦の上では春となりました。正面玄関脇の梅にも花が付き始め、春の息吹が少しずつ感じられるようになりました。ようやく日も長くなり始めました。春はもうすぐです。

2月の中旬になり、先月にもお知らせしました校庭グラウンド改修工事が始まりました。まずは、これまであった体育倉庫やバックネットの取り壊し撤去、校庭の周囲の樹木伐採・根の撤去の作業が進められています。これまで長い間、本校の歴史と共にあった施設や樹木が取り去られるのは、胸が痛みます。しかし、子どもたちのより良い学習環境のために前向きに考えていきたいものです。水はけの良い、活動しやすいグラウンドで、子どもたちが一杯駆け回る日を楽しみにしていきたいと思えます。

これからしばらくは、工事の都合で、子どもたちがこれまでのように校庭で遊べない日が出てくるかもしれません。学校の周囲にお住まいの方々や保護者の皆さんには、工事の音や校庭に出入りする工事車両でご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご理解をいただきご協力をお願いいたします。



新入児保護者説明会を行いました

4月から本校に入学する新しい1年生は23人です。今月5日（金）には、新しい1年生の保護者の皆さんにお集まりいただき、保護者説明会を実施しました。

例年、この機会は、新しい1年生の子どもたちにも学校へ来てもらい、学校生活を体験して小学校入学への期待を大きく膨らませる大切な行事なのですが、今年に限っては、感染症対策のため、保護者の方のみの参加となりました。新しい1年生の顔が見られないのはたいへん残念です。保護者の皆さんに「入学式まで元気に過ごして、元気いっぱい1年生になって学校へ来てください。校長先生やお兄さんお姉さんが楽しみに待っているよ。」と、1年生へのメッセージをお願いしました。入学式は4月6日（火）を予定しています。23人の1年生が、身延小学校に春を運んでくれるような気がします。（来年度の児童数は、全校で146名の予定です。）



卒業に向けて～6年生、条幅作品への取り組み～

6年生は、毎年卒業制作の一つとして、毛筆による条幅作品に取り組んでいます。卒業式まで1か月となった15日(月)と16日(火)、いつも指導をいただいている望月文子先生をお招きして、作品作りに取り組みました。事前に6年生は、一人一人が思い思いの四字熟語を選び、作品のテーマを決めてあります。「一心不乱」「七転八起」「水滴石穿」等々、それぞれが卒業を前に、今後の生活の目標となるような熟語を選びました。条幅の大きな用紙に、真剣な表情で筆を運んでいました。



6年生は、望月先生が一人一人に書いてくださったお手本をすぐ脇に置きながら、作品作りに取り組んでいました。でき上がった作品は表装し、卒業式会場に展示することになっています。

卒業式までの残された日々を、小学校生活の最後の仕上げとしてを充実したものにしてもらいたいと思います。卒業への気持ちの高まりを感じられる取り組みです。

「3.11」を忘れずに、子どもたちに伝えたいこと

13日土曜日の夜、東北地方で大きな地震がありました。山梨でも大きく揺れを感じ、驚かれたご家庭も多いのではないのでしょうか。

平成23年3月11日の、あの東日本大震災から今年は10年目です。報道等では、復興の様子が伝えられていますが、年月が経ち、当時の記憶が風化しつつあることは否めません。特に、子どもたちにとっては、生まれる前や生まれた直後の話です。コロナ禍もあり、世の中の関心も震災ばかりに向けてはられない現実もあるのかもしれない。

私たちは、震災から多くのことを学ばなければなりません。いつかはやってくるであろう大きな災害に備えて準備をしなければならないこと、そして、命の大切さとはかなさ、人と人との絆、地域の繋がり、前を向いて歩いて行く勇気をもつこと、どれも震災を教訓として、決して風化させてはならず、子どもたちに伝えていかなければならないことです。3月11日が近づく度に、私たちに課せられたことの大きさに身が引き締まる思いがします。教訓を肝に銘じながら、子どもたちの前に立たなければならない、そんな思いを新たに過ごしています。



学年PTAへのご参加、ありがとうございました。

17日に行いました学年PTAにはたくさんの方にご参加いただきました。1年間の学校生活のまとめを担当からお話しさせていただき、保護者の皆さんと、進級・進学への期待や課題も共有できたことと思います。今年度も残すところあと1か月です。まとめをしっかりと行っていきたいと思います。

どうぞ引き続き、感染症対策をよろしくお願いいたします。